

曾於市パークゴルフ場・ フラワーパーク【仮称】等整備計画

曾於市が合併した平成17年7月1日現在の人口は、44,068人、平成24年7月1日現在の人口は、39,963人、この7年間で4,105人の減少となっています。これからも減少していくものと予想されます。人口減少社会の到来や少子高齢化の進展などにより、定住人口の大幅な増加が難しい時代となっており、これからは、定住人口のみではなく、地域を訪れる人いわゆる交流人口を創出し、この地域にいるすべての人の活動によって地域の活性化を図っていくことが求められています。

また、交流のネットワーク化により、近隣市町の交流施設などと連携して、相互交流や共通のイベントを実施するなど交流を進めます。

少子高齢化、地域活力の衰退、農家の高齢化や後継者不足、雇用の場など曾於市にとって課題は山積みです。住民が安心して誇りに思えるまちづくりを目指し諸課題等の解決策として、また、合併を記念する公園整備として、この事業を計画し、行うものです。

具体的には、

① 市民の健康増進の場として

- ◎ 体力の増強・健康保持
- ◎ 市民のスポーツ活動の促進
- ◎ 医療費の抑制

② 市民の憩いの場として

- ◎ 市民の交流の場
- ◎ 市民の（幼児から高齢者まで）
「安らぎ・癒し」の効果

③ 観光交流人口の増として

- ◎ 曾於市（地域）活性化と共に圏域を超えた広域的な交流の促進
- ◎ 『就業雇用の創出』
- ◎ 観光客の消費活動による曾於市内（地域）への経済効果

④ 曾於市の特産品PRの場として

- ◎ 農業を中心とした農産物及び特産品の発信
- ◎ 曾於市ブランドの確立
- ◎ 地域商工業の活性化
- ◎ 地域農業の担い手の確保
- ◎ 地域食材提供の場

このように、曾於市民の健康増進と大隅地域の観光拠点として活気あるまちづくりの施策であります。将来の鹿児島・南九州地域の発展につながる施設になると考えられます。



◎計画候補地環境調査について

- ・臭気については、専門業者に委託し調査を行いました。悪臭防止法に基づく基準値内にあるという結果でした。
- ・ハエや蚊などが多い地域ではないのかということで、数量調査を行いました。計画候補地と候補地以外の場所で数回調査を行い、それを比較したところ、計画候補地は、特別にハエや蚊などが多くなく、外の地域と差異はないと思われます。

計画候補地は、曾於市の中心に近い位置にあり、交通の便は、国道10号線・国道269号線・そお街道・東九州自動車道の末吉財部ICからのアクセスがよく起伏の少ない場所となっています。

